

(一) 定例研究会

○第三二一回

二〇一六年一〇月二〇日(木) 一七時三〇分より

三号館五階研究所会議室

「日本のフィリピン系エスニック教会の役割 首都

圏A地域での調査をもとにして」

三浦 綾希子(本学国際教養学部准教授)

○第三二二回

二〇一七年二月二日(火) 一七時より

三号館五階研究所会議室

「叢書『学際的アプローチによるオリンピックの探

求』をめぐる合評と学際研究の発展に向けて」

近藤 良享(本学スポーツ科学部教授)

(二) 学術講演会

○第一回

二〇一六年一〇月二日(金) 一七時より

三号館五階研究所会議室

「ボストリークアンユアの文化制度とグローバル化

…シンガポールの検閲制度を題材にして」

川崎 賢一(駒澤大学グローバル・メディア・ス

タデイーズ学部教授)

○第二回

二〇一六年一月五日(火) 一七時より

三号館五階研究所会議室

「代議制民主主義と政治参加」

待鳥 聡史(京都大学大学院法学研究科教授)

(三) 研究部会

○英連邦研究部会

・研究会

第一回

二〇一六年四月二日(月) 一八時より

一四号館二階国際学専攻会議室

「叢書出版に関する打ち合わせと今後の活動に関する検討会

第二回

二〇一七年一月六日(火) 一七時より

三号館五階研究所会議室

今年度の活動報告と次年度の活動計画について検討

個別報告

「観光、学び、そして平和

ゴジエ島 捕虜収容所の事例」

金 敬黙（早稲田大学文化構想学部教授）
「市場の再帰性——英国とマルタの市場」

中西 眞知子（本学経営学部教授）

・調査

第一回

二〇一六年九月四日（日）～一日（日）

シンガポール・シンガポール国立博物館 プラナ

カン博物館（ヒアリング）・アジア文明博物館・

Ministry of National Development（「宗教の調

和」展）

第二回

二〇一六年一〇月六日（木）

東京・国立国会図書館

第三回

二〇一六年一二月九日（金）～一〇日（土）

横浜・横浜開港資料館

第四回

二〇一七年二月二日（火）～二六日（日）

シンガポール・国立大学・最高裁判所資料展示室・

下級裁判所裁判傍聴等

第五回

二〇一七年二月三日（木）～三月七日（火）

マルタ共和国・市場調査

第六回

二〇一七年二月三日（木）～二六日（日）

香港・マカオ・香港大学・香港歴史博物館・マカ

オ世界遺産

○ロシア研究部会

・研究会

第九六回

二〇一六年五月一〇日（火）一八時より

三号館五階研究所会議室

「生誕二〇〇周年記念学会におけるレールモン

トフ研究の動向」

山路 明日太（本学非常勤講師）

第九七回

二〇一六年七月二日（火）一八時より

三号館五階研究所会議室

「現代ロシアをめぐる『権威主義国家』論と『社

会国家』論「権威主義国家論」を中心に」

松田 昇（本学名誉教授）

第九八回

二〇一六年九月一三日（火）一六時三〇分より

三号館五階研究所会議室

「ロシアにおける語族間の比較に基づく言語系統

論とその再評価の背景」

佐藤 規祥（本学非常勤講師）

第九九回

二〇一六年一月八日（火）一八時より

三号館五階研究所会議室

「旧ソ連と現代ロシアにおけるプロパガンダ利用の比較」

ペトリシエヴァ・ニーナ（本学国際教養学部准教授）

第一〇〇回

二〇一六年一月一〇日（火）一九時より

三号館四階社会科学研究所

『宗教改革』とロシア・宗教改革五〇〇年に合わせて」

安村 仁志（本学学長）

第一〇一回

二〇一六年三月一四日（火）一六時より

三号館五階研究所会議室

「四島返還論の起源：日ソ国交正常化交流と日米関係」

溝口 修平（本学国際教養学部准教授）

○台湾研究部会

・シンポジウム

第一回

二〇一六年八月二五日（木）・二六日（金）

国史館台湾文献館「第九届臺灣總督府檔案學術研討會」にて報告

「引継文書からみる台湾総督府の文書管理 旧県文書と臨時台湾土地調査局の事例から」

東山 京子（本研究部会研究員）

「日本治台と対外宣伝 以一九一一年徳勒斯登万国衛生博覧会為例」

鈴木 哲造（本研究部会研究員）

第二回

二〇一六年一〇月一三日（木）一七時（月）

国立嘉義大学における第二三届「嘉義研究」国際学術研討会に招聘

第三回

二〇一六年九月二八日～三〇日

公立ほこだて未来大学 オープンセミナーにて講演

「台湾総督府文書とデジタルヒューマニティーズ」

檜山 幸夫（本学法学部教授）

第四回

二〇一六年一〇月三日(月)

日台学術シンポジウム「東アジア国際社会のなかの日本と台湾」を開催

本学名古屋キャンパス五号館五六三教室

司会 檜山 幸夫(本学法学部教授)

第一部 日本統治下台湾の政治と社会

「台湾総督府医学系官僚における学歴と学閥」

鈴木 哲造(本研究員)

「運動競技と文化政治 一九三〇年代のKANNO 野球史を事例として」

謝 仕淵(国立台湾歴史博物館副研究員)

「台湾農村における社会教化組織の運営実態 台湾歴史博物館所蔵陸李盈日記を事例として」

陳 怡宏(国立台湾歴史博物館助理研究員)

「日本統治期台湾の文書保存と官僚」

東山 京子(本研究員)

第二部 戦後台湾の政治と社会

「台湾の政治システム」

京 俊介(本学法学部准教授)

「アメリカの援助と台湾経済についての再検討」

李 為楨(国立政治大学台湾史研究所副教授)

「二二八事件をめぐる歴史清算問題」

薛 化元(国立政治大学台湾史研究所教授)

「東アジア安全保障環境と日台関係」

佐道 明広(本学総合政策学部教授)

第五回

二〇一七年二月二十五日～三月一日

国立政治大学、国立台湾歴史博物館との学術交流

国立台湾歴史博物館において講演

「移行期の和論 二二八記念碑の国際的意義」

檜山 幸夫(本学法学部教授)

「台湾近現代と国際政治」 台日国際学術研究会

司会 檜山 幸夫(本学法学部教授)

薛 化元(国立政治大学台湾史研究所教授)

第一部

「ポーターリズムの展開～日本から台湾へ～」

古川 浩司(本学法学部教授)

「日本の安全保障政策と台湾」

佐道 明広(本学総合政策学部教授)

「先住民族とは誰か」

小坂田 裕子(本学法学部准教授)

「自由民主主義体制下における表現規制立法の政治的メカニズム」

京 俊介(本学法学部准教授)

第二部

「近代日本における公文書管理」

矢切 努（本学法学部准教授）

「殖民遺緒如何存在？ 論戦後初期台湾俸球史的「日本」」

謝 仕淵（国立台湾歴史博物館副研究員）

「台湾総督府における文書管理」

東山 京子（本研究員）

「日本の台湾統治と対外宣伝 一九一一年ドレスデン万国衛生博覧会を事例として」

鈴木 哲造（本研究員）

第三部 総合討論

李 衣雲（国立政治大学台湾史研究所副教授）

林 果顯（国立政治大学台湾史研究所副教授）

李 為楨（国立政治大学台湾史研究所副教授）

・研究会

第一回

二〇一七年二月二日・二二日

公立ほこだて未来大学との学術交流

研究打ち合わせ会議

・調査

第一回

二〇一六年八月二五日（木）～九月四日（木）

国立台湾図書館

国史館台湾文献館にて台湾総督府文書目録編纂

第二回

二〇一六年十一月二三日（水）～二七日（日）

国史館台湾文献館にて台湾総督府文書目録編纂

○東アジア研究部会

・研究会

第一回

二〇一六年十一月三〇日（水）

「近代東アジアにおける非植民地域の研究」

・調査

第一回

二〇一七年一月二〇日（金）～二三日（月）

タイ・バンコク国立博物館 他

(四) プロジェクト

○公文書研究

・研究会

第一回

二〇一六年四月一日（月）一八時より

社会科学研究所室

第二回

二〇一六年七月一八日(月) 一八時より

社会科学研究所室

第三回

二〇一六年九月八日(木) 一七時より

社会科学研究所室

第四回

二〇一六年九月二〇日(火) 一七時より

社会科学研究所室

第五回

二〇一六年一〇月四日(火) 一八時より

社会科学研究所室

第六回

二〇一六年一二月七日(月) 一七時より

社会科学研究所室

第七回

二〇一六年一二月二二日(月) 一七時より

社会科学研究所室

第八回

二〇一七年一月一六日(月) 一八時より

社会科学研究所室

・調査

第一回

二〇一七年三月三日(金) 〓四日(土)

三重県総合博物館・尼崎市立地域研究史料館

○大学と地域社会連携のための研究・教育モデルの構築

・研究会

第一回

二〇一六年五月一六日(月) 一七時より

研究所会議室

今年度の活動方針に関して

第二回

二〇一六年六月七日(火) 一八時より

研究所会議室

合評会のための打ち合わせ

第三回

二〇一六年七月十一日(月) 一八時より

ヤマテホール

『大学と地域社会の連携のための教育・研究モデルの構築』プロジェクト主催

シンポジウム「大学×地域 しゃべり場 二〇年

度の私たちの地域社会のために」

・調査

第一回

二〇一六年一月二〇日(日)～二二日(月)

高崎経済大学地域政策学部

研究打ち合わせ

第二回

二〇一七年一月九日(月)～一〇日(火)

金沢星稜大学

調査・地域連携事業に係わる意見交換

第三回

二〇一七年三月六日(月)～七日(火)

大阪成蹊大学査読会議・大阪鶴橋にてフィールド

ワーク

一橋大学にて教育と社会研究会参加

第四回

二〇一七年三月二日(水)～二五日(土)

相模原市役所・川崎市役所・横浜市役所にて・地

域連携事業に係わる調査

第五回

二〇一七年三月三日(木)～二九日(水)

モロツコ・フェスにて観光業およびその従事者に

ついて

第六回

二〇一七年三月二五日(土)

大阪大学人間科学部にて

日本教育社会学会 第五回若手研究セミナー参加

第七回

二〇一七年三月二六日(日) 十四時より

東京・谷中区民館

日本の朝鮮に対する経済制裁を考察する講演会及

び訪朝報告会参加

第八回

二〇一七年三月二七日(月) 十六時より

一橋大学にてCEKI研究会参加

・地域社会との連携事業

二〇一六年六月五日(日)、七月三日(日)、八月

七日(日)、九月四日(日)、十月

二日(日)、十二月四日(日)、

二〇一七年二月五日(日)、三月十二日(日)

豊田市保見団地内でコミュニティカフェを「保見

団地を活性化する会」と共催

○日本の国境警備論の構築

・研究会

第一回

二〇一六年六月一八日(土) 一四時三〇分より
九号館九二二教室

「くにざかい・地域・ツーリズム」

田中 輝美(ローカルジャーナリスト・元山陰

中央新報記者)

高田 喜博(公益社団法人北海道国際交流・協

力総合センター)

山上 博信(名古屋こども専門学校)

濱 桜子(エム・オー・ツーリスト)

・調査

第一回

二〇一六年九月一九日(月) ～ 二二日(木)

標津町役場・羅臼海上保安署・根室市役所

北海道根室地域調査

第二回

二〇一六年一〇月二五日(火) ～ 三二日(月)

境界地域研究ネットワーク JAPAN (JIBSN)

設立五周年シンポジウム参加

横浜海上保安部・小笠原総合事務所・小笠原海上

保安署・小笠原村役場

東京都小笠原地域調査

第三回

二〇一七年二月二五日(水) ～ 一八日(土)

長崎海上保安部・五島海上保安署・五島市役所

長崎県五島地域調査

○言説分析

・研究会

第一回

二〇一六年十二月一六日

プロジェクトの運営方針と今後の展開

研究の近況報告

「言説分析」というテーマと各メンバーの研究の

関連性について

・調査

第一回

二〇一七年三月二五日(土) ～ 三二日(金)

南京大学・上海図書館

○竹炭（人口知能高等研究所・体育研究所・社会科学
研究所共同プロジェクト）

二〇一五年度分

・活動内容

第一回

二〇一五年八月二〇日（木）

竹炭プロジェクトに関する新聞取材

第二回

二〇一五年九月二六日（土）

二本松市復興支援事業協同組合と共同で竹炭含浸
セシウム吸着袋を使った防火水槽除染実験実施

第三回

二〇一五年一月

福岡、柳川の浄化のため、柳川市役所と共同で水
路に竹炭を設置

第四回

二〇一六年二月八日（月）

竹炭プロジェクト会議

第五回

二〇一六年三月一日（火）

竹炭のストロンチウム吸着効果について、新聞発
表

第六回

二〇一六年三月九日（月）

材料学会東海支部発表会で竹炭ストロンチウム吸
着実験について発表

第七回

二〇一六年三月二三日（水）

竹炭の下水道への応用及び下水道展への出展に向
けての打ち合わせ会議

二〇一六年度分

・調査

第一回

二〇一六年一〇月二日（日）～四日（火）

九州柳川市、八女市において、竹炭製作工場、竹
炭ブロック製作工場等視察。

・活動内容

第一回

第二六回 マイクロエレクトロニクスシンポジウ
ム 秋季大会 MESS2016（名古屋）

二〇一六年九月「ロータリーキルンで作製した竹
炭による水溶液中でのセシウム・ストロンチウム
の吸着特性」

第二回

二〇一六年一〇月二日(日)～四日(火)

九州柳川市、八女市において、竹炭製作工場、竹

炭ブロック製作工場等視察

第三回

第一回 人間生活環境学会若手フォーラム(名古屋)

二〇一六年一〇月「孟宗竹を炭化した竹炭の

セシウム・ストロンチウム吸着特性」

第四回

第四三回炭素材料学会年会(千葉)二〇一六年一

二月「竹炭の炭化条件によるセシウム・ストロン

チウムの吸着特性」

第五回

第四三回炭素材料学会年会(千葉)二〇一六年一

二月「竹炭入りコンクリートブロックのセシウム・

ストロンチウム吸着特性」

第六回

AMN8(ニュージーランド)二〇一七年二月

「Caesium and Strontium Adsorption Ability of

Activated Bamboo Charcoal」

第七回

AMN8(ニュージーランド)二〇一七年二月

「The Caesium and Strontium adsorption

properties of bamboo charcoal-contained concrete block」

第八回

日本熱処理技術協会中部支部講演会(名古屋)二

〇一七年三月「炭化時間の違いによる糊殻炭の水

溶液中のセシウム及びストロンチウムの吸着への

影響」

第九回

日本材料学会 東海支部 第一一回学術講演会

(名古屋)二〇一七年三月「糊殻炭の水溶液中の

セシウム及びストロンチウムの吸着特性」

(五) 出版

叢書

叢書40 『学際的アプローチによるオリンピックの

探求』

二〇一六年二月二六日 発行

叢書41 『ロシアの現在 文化的・社会的諸相』

二〇一七年三月一〇日 発行

叢書42 『地方公共団体における公文書管理制度の

形成 現状と課題』

二〇一七年三月三十一日発行

紀要

- 『社會科學研究』三七卷第一号
二〇一六年一〇月三十一日 発行
『社會科學研究』三七卷第二号
二〇一七年三月三十一日 発行

(六) 公開講座

オープンカレッジ

・「知られざる日本の国境問題」

古川 浩司 (本学法学部教授)

第一回

二〇一六年四月二〇日(水) 一三時一〇分より一四時四〇分

「日本の領域(領土・領海・領空等)に関する基礎知識」

第二回

二〇一六年四月二十七日(水) 一三時一〇分より一四時四〇分

「知られざる日本の領土問題(二) 北方領土」

第三回

二〇一六年五月二一日(水) 一三時一〇分より一四時四〇分

「知られざる日本の領土問題(二) 竹島」

第四回

二〇一六年五月二十五日(水) 一三時一〇分より一四時四〇分

「知られざる日本の領土問題(三) 尖閣諸島・

在沖米軍基地」

第五回

二〇一六年六月二日(水) 一三時一〇分より一四時四〇分

「知られざる日本の国境交流(二) 八重山・台湾」

第六回

二〇一六年六月五日(水) 一三時一〇分より一四時四〇分

「知られざる日本の国境交流(二) 対馬・釜山」

第七回

二〇一六年六月二二日(水) 一三時一〇分より一四時四〇分

「知られざる日本の国境交流(三) 稚内・サハリン」

第八回

二〇一六年六月二十九日(水) 一三時一〇分より一四時四〇分

「知られざる日本の境界問題(二) 五島列島」

第九回

二〇一六年七月六日(水) 一三時一〇分より一四時四〇分

「知られざる日本の境界問題(二) 小笠原諸島」

・「第九回台湾史研究講座日本統治下台湾の研究」

第一回

二〇一六年九月二七日(火) 一六時四〇分より一八時一〇分

「台湾での日本語教育の歴史」

第二回

二〇一六年一〇月四日(火) 一六時四〇分より一八時一〇分

「台湾での日本語教育とは何だったのか」

第八回

二〇一六年一月三日(火) 一六時四〇分より一八時一〇分

「台湾統治と教育」

酒井 恵美子(本学国際教養学部教授)

第三回

二〇一六年一〇月二八日(火) 一六時四〇分より一八時一〇分

「植民地における社会事業家」

第四回

二〇一六年一〇月二五日(火) 一六時四〇分より一八時一〇分

「台湾、朝鮮、日本の福祉文化的基盤の比較検討」

第一一回

二〇一六年二月三日(火) 一六時四〇分より一八時一〇分

「植民地と社会事業」

大友 昌子(本学現代社会学部教授)

第五回

二〇一六年一月二日(火) 一六時四〇分より一八時一〇分

「台湾統治と台湾」

第六回

二〇一六年一月八日(火) 一六時四〇分より一八時一〇分

「日清戦争と台湾」

第七回

二〇一六年一月二五日(火) 一六時四〇分より一八時一〇分

「台湾総督府」

第九回

二〇一六年二月二九日(火) 一六時四〇分より

一八時一〇分

「台湾総督府文書」

第二〇回

二〇一六年二月六日(火) 一六時四〇分より一八時一〇分

「建功神社と台湾護国神社」

檜山 幸夫(本学法学部教授)

(七) その他

○中京大学研究交流会

第九回

二〇一七年一月二四日(火) 一六時より

一六号館六階アネックスホール

「中京大学とレジリエンス」

安村 仁志(本学学長)

○NEXT10 行動計画

NEXT10プロジェクト中京大学先端共同研究機構

運営委員会を、七回開催した。

○イタリアとの学術交流

二〇一七年三月二〇日～二八日

「戦争の記憶と記録化 和解論をめぐって」

檜山 幸夫(本学法学部教授)

「中国国民党政権の成立と日本世論 北伐を中心に」

アンドレア・レヴェラント(ヴェネツィア大学ア

ジア・地中海アフリカ学科)

「台湾における地震の記録 一九三五年と一九九九年の台湾大地震を事例として」

東山 京子(本研究所周員)

「上代文学の諸相と発展」

佐藤 隆(本学文学部教授)

「江戸時代の書物と出版」

柳沢 昌紀(本学文学部教授)

「人形浄瑠璃文楽、伝統演劇の魅力」

ボナヴェントゥーラ・ルベルティ(ヴェネツィア大学アジア・地中海アフリカ学科)

「若者言葉と外来語」

酒井 恵美子(本学国際教養学部教授)

「日本語教育とe-Learning: aedu, Edukanji, JALEA, E」。 「カ・フォスカリ」大学でのプロジェクトとその背景」

マルチェッラ・マリオッティ(ヴェネツィア大学

アジア・地中海アフリカ学科) & アレッサンドロ・

マンテッリ(ヴェネツィア大学アジア・地中海ア

フリカ学科)